

種類別明細書の記載例

- 1 全部減少資産の場合
全部減少の場合は、「異動区分」の番号「1」を○で囲んでください。
- 2 修正資産の場合
一部減少、修正の場合は、「異動区分」の番号「2」を○で囲んでください。
- 3 増加資産の場合
増加の場合は、「異動区分」の番号「3」を○で囲んでください。

取得価額
資産を取得(製作改良)するために、通常支出すべき金額(資産の買入手数料、周旋料、輸送費、据付費用等を含めたもの)を記載してください。
※圧縮記憶は償却資産の評価上認められていませんので、圧縮する前の「実際の取得価額」を記載してください。

※ 償却資産種類別明細書は、前年度までに申告いただいた内容により作成されており、前年中に取得した資産及び前年前までに取得した資産で申告漏れとなっていた資産を追加記載してください。また、減少した資産がある場合は該当する資産に赤2重線を引いてください。
なお、今回初めて申告される方は串間市内にある全資産を記載してください。

所有者住所、氏名又は名称を記載してください。

452076 串間市

令和 年度 種類別明細書 (一覧表)

※ 行政区	住所	世帯	※ ページ
※ 所有者コード			枚のうち
※ 記入する必要はありません。			枚目

番号	種類区分	番号	種類区分
1	構築物	4	航空機
2	機械及び装置	5	車両及び運搬具
3	船 舶	6	工具、器具及び備品

●住所	888-0001 串間市大字西方5550番地	法
氏名	北方商事株式会社	

(資産の種類欄には、上記の区分番号を記入してください。)

行番号	異動区分	資産の種類	資産コード	資産の名称等 (漢字・カタカナ・数字・英字で記入してください。30字以内)	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率	1月1日現在評価額	5%	課税標準の特例		課税標準額	増事由	適要
						年号	年	月						率	コード			
01	1	2	3	1		4	17	4	2,530,000	10	0.0						1. 2 3. 4	
02	1	2	3	6		1	4	12	3	300,000	20	0.0					1. 2 3. 4	
03	1	2	3	6		1	4	13	5	240,000	6	0.0					1. 2 3. 4	
04	1	2	3	6		1	4	12	7	330,000	5	0.0					1. 2 3. 4	
05	1	2	3	6		1	4	12	3	510,000	15	0.0					1. 2 3. 4	
06	1	2	3	6		1	4	14	12	600,000	15	0.0					1. 2 3. 4	
07	1	2	3	2		1	4	24	8	3,000,000	15	0.0					1. 2 3. 4	
08	1	2	3								0.0						1. 2 3. 4	
09	1	2	3								0.0						1. 2 3. 4	
10	1	2	3								0.0						1. 2 3. 4	
11	1	2	3								0.0						1. 2 3. 4	
12	1	2	3								0.0						1. 2 3. 4	
13	1	2	3								0.0						1. 2 3. 4	
14	1	2	3								0.0						1. 2 3. 4	
15	1	2	3								0.0						1. 2 3. 4	
合 計																		

注意 「取得年月の年号」の欄は、大正は2、昭和は3、平成は4、令和は5を記入してください。
「増事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受け入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。(又は1、2、3、4のいずれかの番号を上書き入力してください。)

耐用年数
減価償却資産の耐用年数等に関する省令に掲げる耐用年数を記載してください。
ただし、国税局長の承認したもの、又は税務署長が認定した耐用年数によるものにあつては、当該耐用年数を記載してください。
耐用年数については、e-Gov法令検索 (<https://elaws.e-gov.go.jp>) から「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」で検索することができます。(別表1、2及び5、6に基づいて記載してください。)

増事由
1. 新品取得
2. 中古品取得
3. 移動による受け入れ
4. その他
該当する番号を○で囲んでください。